

音 田川合唱団チャリティーコンサート
音楽の力で想いを被災地へ

田川合唱団による熊本地震復興支援のコンサートが、4月22日に役場本庁ロビーで行われました。昼休みに26人のメンバーが「かもめの水兵さん」や「故郷」、「花は咲く」など計14曲を披露。偶然役場を訪れた人も足を止め、感動のアンコールまで聴き入り、中には涙を流す人も。およそ30分で集まった募金6万円以上とともに、被災地へエールを送りました。



↑それぞれの人の胸に“生きる勇気”を与えた歌声が、約70人の心を揺さぶりました。

↓6年生のユニークな歓迎の出し物で、それまでの緊張がほぐれた伊方小新入生。



緊 町内8校で449人が入学
緊張感と安心感に包まれた入学式

町内の小学校5校で4月7日に、中学校3校で4月8日にそれぞれ入学式が行われました。本年度は、小学校213人(市場小55・上野小9・金田小79・伊方小57・弁城小13)、中学校236人(赤池中93・金田中78・方城中65)の新1年生が、期待を胸に入学。伊方小では、6年生が劇で学校紹介をしたり、校歌を披露したりして、和やかに新入生を迎え入れていました。

通 町内2事業者が「人気のお店賞」を受賞
販サイトで1位人気を季節リレー

福岡の名産品通販サイト「福岡よかもん市場」での人気が評価され、上野の里ふれあい市と福智ブランドファクトリーが2月15日に表彰されました。福岡県が国の地方創生の交付金で行った「ふるさと割」の事業で、夏場は「ふくち☆リッチジェラート」、秋からは「上野の里米」がそれぞれ1位の人気を獲得。福智と名産品の魅力を全国に広く発信しました。



↑「人気のお店賞」を受賞した上野の里ふれあい市と福智ブランドファクトリー

↓50分の1の模型を見ながら、経緯や設計内容について来場者約120人に説明。



多 図書館・歴史資料館 住民説明会
多くの魅力を備えた拠点をめざして

来年3月に開館予定の図書館・歴史資料館の設計が完了し、3月30日に地域交流センターで住民説明会が行われました。3Dプリンターなどの機器を設置した「ものづくり工房」や「録音室」、「サイレントルーム」、食育の場となる「キッチンスタジオ」、地元の食材を活かした「カフェ」などの機能を紹介。誰もが立ち寄りたくなる施設をめざして協議を重ねていきます。

↓県を代表する一本桜として定着した虎尾桜、週末は団体や家族連れなど数千人の花見客を迎えました。



枝 虎尾桜が満開に
広げ鮮やかに花見客を魅了

福智山の中腹に咲く県内最大最古のエドヒガン「虎尾桜」が、3月末に満開を迎えました。唯一晴天に恵まれた土曜日の4月2日は、麓の沿道に長蛇の車の列ができるほどの人気ぶり。県外ナンバーの車も多く見られました。ここ数年でさらに大枝が枯れるなど、治療を重ねてきたこともあり、枝ぶりが小さくなった虎尾桜。しかし、静寂な杉林の中でひととき鮮やかに開花した姿は、依然として圧巻でした。樹齢600年以上の生命力に満ちた一本桜を見上げ、多くの花見客がカメラを向けていました。

大 金田菅原神社神幸祭の子ども山笠運行
大人顔負けの掛け声と練り回し

金田菅原神社の神幸祭が4月16日から2日間行われ、囃子の音色と「オーラーヤッサ」の威勢のいい掛け声が春空に響き渡りました。この祭りは長らく途絶えていましたが、青少年の健全育成を目的に平成9年に復活。子どもが主役の春の風物詩として定着しました。地域の人や保護者が沿道で見守る中、各地区の子ども山笠が元気に練り歩き、春のまちを彩りました。



↑長寿園で入所者約50人に、元気いっぱい山笠を披露する町部の子どもたち。

↓大名茶陶の伝統や新開発の「巴ライン」など、幅広く紹介したPRパンフレット。



四 上野焼パンフレット完成
百年の伝統と魅力を一冊に凝縮

国指定伝統的工芸品「上野焼」のパンフレットが完成しました。地域総合整備財団の助成を受け、上野焼協同組合が発行。400年以上の歴史や多彩な技法をはじめ、催しや町の見所なども掲載しています。パンフレットはA5版12ページで上野焼陶芸館や公共施設で無料配布予定。豊前小倉藩窯の伝統や国焼茶陶の魅力を凝縮した一冊に仕上がっています。